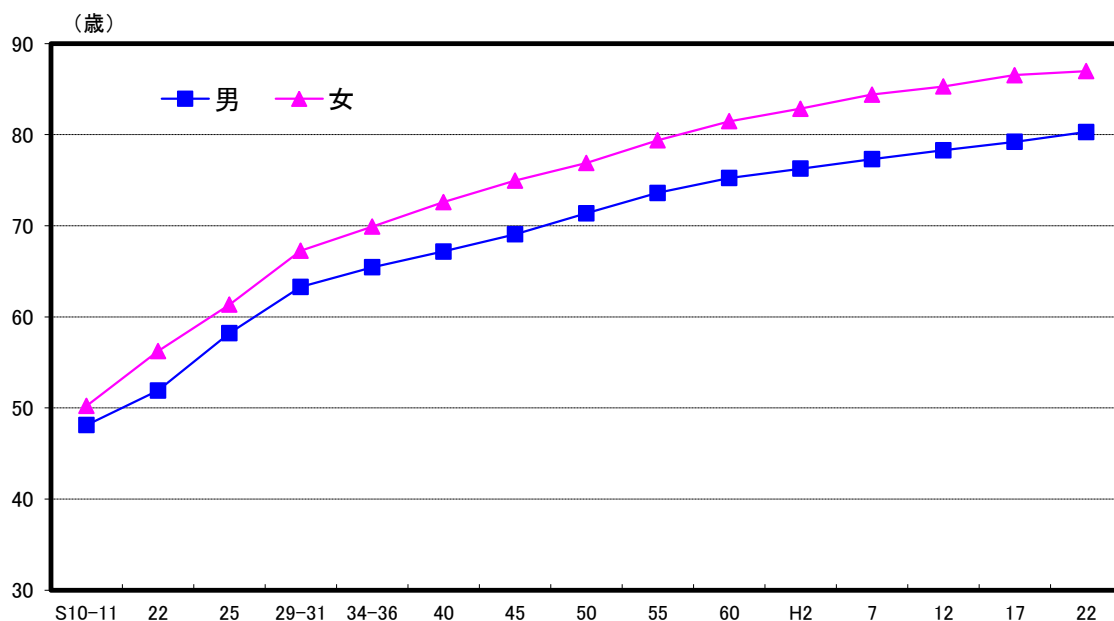


熊本県の平均寿命の推移



解 説

【概要】

平成22年の熊本県民のゼロ歳時の平均余命（平均寿命）は、男性が80.29年、女性が86.98年となっており、平成17年と比較して男性が1.07年、女性が0.44年上回った。

平均寿命の推移をみると、戦前は男女とも50年余りであったが、戦後になって急速に伸び、昭和22年の男性51.91年・女性56.24年から、60年ほどの間に25年以上伸びている。

また、男女間の差をみると、昭和22年は4.33歳だったが、平成22年では6.69歳と拡大している。

○平均寿命

0歳時の者があと何年生きられるかを示した数のこと。

○平均余命

X歳に達した者が、その後生存できると期待される平均年数をX歳の平均余命という。この平均余命は、生命表作成基礎期間における年齢別死亡率を基礎に、この死亡秩序と出生数がいつも一定と仮定した人口集団を想定し、この集団におけるX歳以上の人口数（X歳人口の生存年数の総和に等しい。）をX歳の生存数で除して推計される。

○百歳以上の人口

9月15日までに100歳以上になる長寿者（海外邦人を除く）を9月1日時点で集計したもの。

注：グラフの昭和10～31年は水島治夫「府県別生命表」、昭和34～36年は水島治夫・重松俊夫「都道府県別生命表」、昭和40～平成22年は、厚生労働省「都道府県別生命表」による

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2「都道府県別生命表」 厚生労働省 *3、*4 厚生労働省資料	平成22年 平成27年9月1日	5年 毎年